



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY 2001 : CREATE AWARENESS - TAKE ACTION

「ロータリー2001：意識を喚起し一進んで行動を」

2000～2001年度・国際ロータリーテーマ／フランク・J・デブリン会長

「さわやかに全員参加で行動を」

2000～2001年度・東京新南ロータリークラブテーマ／山下忠治会長

本日の例会 6月8日 第704回例会

卓話

「行政が変わる。もしあなたが望むなら」

財務省理財局計画官 村尾 信尚氏

本日のロータリーソング 「日も風も星も」「通りゃんせ」

本日の演奏 ピアノ 大澤 美紀さん

ショパン作曲 エチュード「エオリアンハーブ」、「雨だれ」他

先週報告 6月1日 第703回例会

◎幹事報告

①第6回次年度第1回クラブ協議会は6月15日開催。
出欠を6月8日までにお願いします。

本年度各委員長は「各委員会活動報告書」を、並びに
次年度各委員長は「次年度各委員会活動計画書」を
6月8日までに提出してください。

②6月29日の今年度最終例会は移動夜間例会・新会員歓迎会・打上会です。出欠を6月22日までにお願いします。

③本日例会後、今年度・次年度合同理事会を開催。

◎親睦活動委員会報告(新保委員長)

・6月の火曜会はありません。

◎慶事披露 誕生日祝い／横山 秀明君(6月2日)

◎出席報告 会員69名／出席46名／欠席23名(出席規定免除者6名)



6月1日／9件24,000円

2000～2001年度累計1,822,000円

多額の御寄付を有難うございました。

山下忠治／本年度もあと1ヶ月となりました。福島さん昨日は有り難う御座いました。横山秀明／「誕生日祝い」有り難う御座います。小湊雅亮／6月になりました。そろそろ雨期です。健康第一にお過ごしください。柴田陽三／暫くニコニコしていませんでしたので、小杉さんの顔を見たら。入沢頼二／小杉さん、ホームページでお世話になります。荒木昭文／小杉眞史さんのニコニコへ。福島賢哉／青野さん、河原先生先日はお世話になりました。小杉眞史さんニコニコご苦労様です。荻野道雄／小杉さんニコニコご苦労様です。小杉眞史／今年度最後のニコニコ担当です。ご協力有り難う御座いました。

次週予告 6月15日 第705回例会

第6回・次年度第1回クラブ協議会

「本年度各委員会活動報告」「次年度各委員会活動報告」

(例会後 13:10～15:00)

国際ロータリー第2750地区

(前号の続き)

2001～2002年度地区協議会報告

第3分科会／職業奉仕部会 次期職業奉仕委員長 青野 信次

職業奉仕部会は、カウンセラーに秋山パストガバナー、漆崎次期地区研修リーダーを迎え開催された。リーダーの篠次期地区職業奉仕委員長は「職業奉仕はロータリーの金看板と言われている。職業奉仕なくしてロータリーなし」と挨拶された。研修のテーマは、次の2点であった。

①「職業奉仕について理解を深めよう」

1) ロータリーの綱領について 2) 四つのテストについて

②「職業奉仕の理念を実践に移そう」

①について漆崎氏は「四つの委員会を大樹に例えると、地中にある根の部分がクラブ奉仕委員会であり、幹が職業奉仕委員会、枝が社会奉仕・国際奉仕委員会です。職業奉仕を理解するにはロータリーの綱領を熟読することです。奉仕とは『思いやりの心』『他人のための援助』です。その心をもって各自の職業を遂行すればその職業は社会に有益なものとなります」と説明。また、秋山氏は「現在のロータリーは職業奉仕の理念が薄れているのがその力を失っている原因ではないか。この理念をもっと活動の場に生かせばロータリーも活力が生まれる」と講話された。

②について立本次期地区研修副リーダーは新南RCが翻訳出版したアーサー・シェルドン著「奉仕の哲学」を紹介しI.S.P理論を引用し奉仕について説明をした。

第4分科会／社会奉仕・国際奉仕・ロータリー財団合同部会

今回の合同部会の報告は、当クラブから、全体合同部会と国際奉仕部会を島田会員、社会奉仕部会を村山会員が、ロータリー財団部会は山根会員が夫々分担した。

●合同部会の報告 次期国際奉仕委員長 島田 昌雄
テーマ：奉仕活動はクラブが主体、地区はクラブの支援が原則

今年度の地区委員会組織が簡素化、機能化されたことから3委員会の連携が益々必要となる。これに伴い社会奉仕・国際奉仕・ロータリー財団の活動領域の区分を明確化し重複を避けねばならないとの基調方針が示された。

活動の主な点は次の通り。

①国際奉仕：共通認識として海外での奉仕活動としたい。
共同事業のパートナー（相手国）がNGO・赤十字等ロータリークラブでないこと。

②世界社会奉仕活動：国際奉仕のなかで相手国パートナーがRCの場合、R財団の補助金を利用する場合がある。

③社会奉仕：国内の自分のRCのある地域で行うもの。R財団の補助金を利用する場合地域社会援助プログラム(CAP)この後、国際奉仕、社会奉仕、R財団の各部会が開かれた。

● 国際奉仕部会 次期国際奉仕委員長 島田 昌雄

1) 国際奉仕委員会の基本方針

A. 各クラブの自主性を尊重した国際奉仕活動の推進

B. 地域は海外

C. PB (Pacific basin) 分区との関係：お客様扱いを止め 2750 地区内の仲間としての認識だがまだまだ協力せねばならぬ点が多く、海外クラブとして国際奉仕の対象地域とする。

2) 世界社会奉仕委員会

A. 海外から要求される援助プロジェクトの取捨選択とロータリー財団との調整。例としてインドが圧倒的に多い。アジアへの重点シフトが必要ではないか？

B. 災害救援の円滑な実施のためのシステムの構築

・地区からの取次(各クラブが主体)・窓口の一本化(各クラブへの依頼の場合)

・義援金の送金方法の明確化

C. バギオ基金の援助活動の推進・今年で 20 周年

D. ポリオプラス・パートナーの実質的推進(インドとアフリカ)

3) 国際親善委員会

A. 海外クラブ(PBグループを含め)との姉妹クラブ提携の推進

B. 日韓親善部会(夏季留学生交流他)プログラムと効果的実施、両国文化、歴史の認識には驚くべき効果がある。

C. GSE プロジェクトの 2001 ~ 2002 年度はなし。

● 社会奉仕部会 次期社会奉仕委員長 村山 公士

次年度の地区社会奉仕委員会委員長は、東京世田谷南 RC の牟田悌三氏で、氏は地域の問題、ボランティア活動に関しては大変高名な方で、これまでの活動の経験と数多くの事例を元にロータリーの社会奉仕活動のあり方を提言された。中でも「ボランティアは自己犠牲による奉仕というよりも、自己開発であり、自己実現につながる道である」として、自分のための体験学習であると考えるべきことを強調された。

次に、次期環境保全委員長の市川和博氏(東京八王子南 RC) から 21 世紀の環境問題はきわめて深刻で、世界的規模での環境問題取り組みが必要になっている、あらゆる面からこの問題に取り組んでゆかなければならないとの提言がなされた。

最後に、次年度の社会奉仕委員会の盛り沢山の行事予定が報告されて、閉会となった。

● ロータリー財団部会 次期国際奉仕委員 山根 一剛

R 財団部会は、新藤信之次期委員長をリーダーに、丸山宏カウンセラー、サブリーダーとして坂本旦子次期財団情報増進委員長、関口弘治次期財団奨学委員長、金丸清泰次期財団補助金副委員長があたり、コーディネーターに岩井敏次期財団地域コーディネーターのもと議事が進められた。

始めに、新藤次期委員長より、3 分科会の合同協議会は今回が初めて。相互に密接に関連し合っているので簡素化、効率化を狙った。ただ固有の役割を明確に認識し活動すべきだし、「ややもすると消極的に成りがちな鷹揚なロータリアンから積極的なロータリアンになり、奉仕活動(寄付)に夢を託し、プログラム作成に携わり感動を味わっていただきたい」との挨拶があった。また、丸山カウンセラーからは、R 財団の歴史と近年の活動、RI の現況の説明があった。①財団寄付について、坂本次期財団情報増進委員長より、次年度当地区の寄付目標は、次の通りである。各クラブ

がそれを目標額として頂きたいと述べられた。

・年次プログラム寄付：100 \$ / 会員 1 名 以上。

・使途指定寄付：参加プログラム応じて。

・恒久基金：クラブあたりベネファクター 1 名以上(1000 \$)

②次に、関口次期財団奨学委員長より、奨学生の派遣、受け入れに偏りが見られる。現況の選考試験制度の合理化を含め今後の課題としたいとの説明があった。

また、金丸次期財団補助金副委員長は、恒久基金運用益の使途について、次年度のガイドライとして「目に見える活動」を主眼に、アジア太平洋地区を対象地域としてプロジェクトの紹介を行いたい。

これを受け、岩井次期財団地域コーディネーターから、恒久基金を含めた R 財団への寄付は、税制上の優遇措置(30 万円以上)がある。詳細は、「ロータリーの友」6 月号ご参照。

第 5 分科会/米山奨学部会 次期国際奉仕副委員長 岩上 義明
長谷川奎一次期米山奨学委員長の司会進行で開会。

始めに委員長挨拶の冒頭で「この制度は、数ある RC の活動の中でも特に世界に誇れる喜ばしい制度である」とのことを強調された。

その他の説明では、役割と沿革、現状報告等を受けた。近年の傾向としては、韓国・台湾の留学生の数が減少している、との事でその理由としては、日本よりアメリカ留学の方に人気が高くなっている点や、自国内に於ける高等教育施設の向上にあるそうである。

又、奨学生の修習度においては、学部課程修了より修士、博士課程修了者の割合が増加傾向にあるとの事でスペシャリストの育成度が高まっている。

2001 学年度は、1000 人の奨学生を募集する予定であるが、選考基準のハードルは高く、留学生にとっては難関中の難関で、一人でも奨学生の募集入数を拡大したくなるのが、選考委員の辛いところだそうである。本年度の寄付予定額としては、約 1 億円であり、各クラブ・メンバーの協力を要請したいとのお願いがあった。

第 6 分科会/新世代部会 次期新世代委員長 圓谷 正和

新世代部会リーダーの村木次期新世代委員長より「21 世紀世代が目指すもの」というテーマで、最近青少年の間に社会貢献、社会参加に対する拒否反応が高まっており、そのために青少年の非行が大きな社会問題になっている。次の社会を担う青少年の意識向上に向けてのロータリー活動の意義及び期待が高まってきている。

続いて、犯罪の低年齢化、倫理観の喪失など萎縮荒廃している青少年に対して、我慢、辛抱、忍耐といった日本人としての美德をロータリー活動を通して認識させたい(次期 I.A 委員長星氏)、本年度の目標は、ローターアクトクラブ未提唱クラブへの提唱を行なっていきたい。(次期 RA 委員長鶴橋氏)、青少年交換プログラムの有益性に疑いはないので、是非今後もホストクラブとして協力して欲しい。(次期青少年交換委員長富澤氏)等の発言があり、次期新世代副委員長伊達氏より、「新世代会議」「心の東京革命」「東京少年友の会」に関する説明がなされた。

最後に、活発な質疑応答があった。(了)



東京新南ロータリークラブ

会長：山下忠治 副会長：加藤昌明 幹事：梶内滋男
事務局：〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8 赤坂 2 丁目アネックス 3 階

TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004

例会日：毎週金曜日 12 時 30 分

例会場：東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-12-33 TEL: 03-3505-1111

< 会報委員 > 下線は、今週の担当

青野 信次、福島 賢哉、石川 泰啓
清原 元輔、本嶋 公民、村山 公士
庄司 泰典、高須 康有、土屋 東一
圓谷 正和、山川 政樹